

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	新たに入居された方が3名いる事で、改めて一人ひとりの思いやペースを把握し理解する必要がある。	信頼関係を築く	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの一対一での聞き取りの時間をつくり、会話を充実させる。 ・要望を聞き応えられるよう行動する。 	6ヶ月
2	21	ムードメーカーだった方の退去から、以前のような和気あいあいとした雰囲気は少なくなった。	利用者同士の支え合う姿を取り戻す	<ul style="list-style-type: none"> ・意志の伝達が苦手な利用者になり、相手に気持ちを伝える。 ・ソファなどで、ゆったりと過ごす空間の中で会話の橋渡しをする。 	6ヶ月
3	48	朝の掃除などは個々に役割を持ってやれているが食事作りは、出来る人できない人がはっきりしてきている。	出来ない利用者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・食事作りへの参加の援助 ・得意な分野を見つけ生きがいに繋げる 	6ヶ月
4	49	入居者の行きたいところへ行けているか？天候や利用者の体調の変化で、計画通りにいかない。	気分転換とストレスの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の良い日に、利用者の体調を加味して外出する。 ・日々の会話の中から情報を得る。 ・拘束なく玄関先での日向ぼっこを楽しめるようサポートする。 	6ヶ月
5	19	面会のみでなくユニットでの行事へ参加してもらい日頃の生活をみてもらう。	家族、利用者、職員が一つの家族のように支え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットでの行事、芋煮会やクリスマス会、食事作りなどへ参加してもらう。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	○急変時や事故発生時の備え 学習会等で訓練は行っているものの、不安な面がある。	体調不良の利用者がいた場合の早期発見と迅速な対応が出来るようにする。	急変や事故に迅速な対応が出来るように、必要書類の書き方を含めて、定期的に学習をしていく。	6ヶ月
2	19	○本人を共に支え合う家族との関係 家族の面会率が低く、過多よりがある。	多くの家族の方から、面会を来て頂けるよう、行事等を通じて、声掛けを行っていく。	家族を交えた行事を企画し、利用者だけでなく、スタッフや家族同士の交流が図れるようにする。	6ヶ月
3	48	○役割、楽しみごとの支援 出来る利用者と出来ない利用者に差があり、内容によっては参加されない利用者もいる。	一人で出来ないことでも、他利用者と一緒にしてもらったり、スタッフが付き添って生活を送れるよう支援する。	利用者の状態を再認識し、生活歴も含めて、本人が意欲的に関わられるよう生活を支援していく。	6ヶ月
4	45	○入浴を楽しむことが出来る支援 現在、夜間入浴をされている利用者がいないため、業務改善をする必要がある。	利用者の要望を聞いて、希望する方には、夜間入浴を行う。	利用者に要望を聞き、入浴を勧める。 スタッフ同士で業務改善について話し合いを行う。	6ヶ月
5	35	○災害対策 避難訓練は行っているものの、備品の整理が徹底されていない。	災害時、迅速にスタッフ全員が対応出来るように管理する。	災害時のマニュアル・備品の確認を定期的に行う。実践的なシュミレーションをユニットで話し合い、対策を検討する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	(身体拘束をしないケアの実践) 日々のケアの中で利用者に危険のある可能性を予測し対応しているが長時間に及ぶ事がある	職員各々が身体拘束をしないケアを心掛け、短時間で済むよう努める	鍵の施錠、ベット柵の使用については利用者の状態をみながら、できる限り短時間で対応する	6ヶ月
2	27	(個別の記録と実践への反映) ケアの中での気づきや工夫が足りず個別記録が介護計画の見直しに活かされていない	日々のケアの中で利用者の気持ちに気付き、対応を工夫した事をまめに記録し介護計画に活かしていく	その日の利用者の様子がわかるよう記録を心掛け、職員間で情報を共有し介護計画に取り入れる	6ヶ月
3	34	(急変や事故発生時の備え) 学習会で定期的に学んではいるがいざという時スムーズに動けるか不安がある	急変や事故発生時、冷静かつ迅速に動けるよう訓練する	急変や事故発生時の対応について再度マニュアルを確認し、常に頭において行動する	6ヶ月
4	35	(災害対策) 定期的に訓練は行っているが災害時スムーズに動けるか不安がある	災害時迅速に動けるように常に意識し、イメージトレーニングを行う	定期的な訓練に積極的に参加する。災害時の対応について再度マニュアルを確認し常に頭において行動する	6ヶ月
5	50	(お金の所持や使うことの支援) 利用者の支払いについては職員が行うことが多く、利用者の状態に合わせてお金の所持や使用ができていない	利用者の希望、状態を把握し、出来る限り自分でお金を所持し使えるよう支援する	お金の所持、使用ができる利用者にたいしては、家族と相談し、徐々にできるよう進めていく	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	余暇活動時間等を使って、入居者が楽しめるような支援ができていない	入居者が楽しめるレクリエーションを行う。個別外出の機会を設ける。	季節毎のイベントを立案し提供する。個別外出を計画し利用者と個別に関わる機会を多くもつ。	6ヶ月
2	34	急変や事故時に冷静に対応できるか不安がある	いつでも対応できるように常にシミュレーションを行い心構えをする。	マニュアルに目を通し、急変時や事故時の対応について再度確認する。急変時や事故時にどのような対応を行ったか話し合いを行う。	6ヶ月
3	3	排便の確認が取りにくい	一人ひとりの排泄パターンを把握する。	トイレ時の見守りや声かけを行い、スタッフ間の報告、連絡の徹底を行う。	6ヶ月
4	24	一人ひとりの生活暦や、なじみの暮らしについて把握出来ていないところがある	一人ひとりの生活暦、なじみの暮らし方、生活環境の把握に努める。	家族の面会時、利用者の生活暦の聞き取りを行う。チャートを確認し、情報の収集を行い、スタッフ間で共有する。	6ヶ月
5	19	信頼関係が築けていない家族がいる	家族との交流の機会を設ける。報告、連絡、相談の徹底を行う。	家族との交流の機会を設ける。面会時には、状況報告をし、情報交換を行う。話しやすい雰囲気を作る。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者一人ひとりについて、本人の希望や意向を把握できているか、不安が残る。希望を言える環境になっているか。	その方の本音を聞き逃さないよう、また、希望をできるだけ尊重したケアができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちシートの活用。 ・毎日の入居者との関わり、コミュニケーションの時間を大切にする。 ・家族からの情報を参考にする。 	6ヶ月
2	36	言葉づかい、声がけなど注意しているが、他入居者の視線を集めてしまう事がある。入居者が恥ずかしいと思わないような声がけの必要がある。	本人のペースに合わせ、無理のない生活を送っていただく。一人ひとりを尊重した声がけを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の生活のペースをつかむ。 ・得意分野をさぐる。 ・一人ひとりに合わせた声がけをおこなう。 	6ヶ月
3	18	介護の対象者としてだけでなく、入居者を見ていく必要がある。	同じ家に住む家族としての役割のある関係作り、ユニット作りをしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・何事も入居者の方と一緒にやっていく。 ・お互いに感情表現をする。 ・入居者の話をしっかり聞く。 	6ヶ月
4	40	食事を残される方もいるため、好まれる、食べやすい食事の工夫が必要である。	皆さんが楽しみだと思えるような食事の提供、食事環境の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・食べやすい味、硬さにする。 ・好みを知る。 ・皆さんと一緒につくる。 ・食事の会話も大切にする。 	6ヶ月
5	26	入居者の現状に合っていないプランになっている。	本人と家族の意見の生きた、プランをつくる。現状の変化に合わせたプランをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者、家族の意見を取り入れる。 ・入居者の変化を把握する。 ・定期的な見直しをしっかりと行う。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	業務優先してしまい希望に沿った満足のいく支援ができてない。	余裕を持ち業務につく。	おやつ時や入浴時に話を聞くよう心掛ける。優先順位を考える。	6ヶ月
2	49	買い物外出時、いつも同じ人ばかりになっている。	気分転換・ストレス解消を図る。	片寄なく全員が外出できるよう声掛けに工夫し対応する。	6ヶ月
3	48	できる利用者とできない利用者の差があるためかたよりがある。	役割楽しみごとの支援。	均等に役割ができるよう働きかけ達成感を感じてもらう。	6ヶ月
4	44	排便の有無の確認が難しいことがある。	一人ひとり排泄のパターンを把握する。	飲み物などを工夫し対応する。運動を心がける。	6ヶ月
5	34	冷静に対応できるか不安がある。	防災意識を持ち対応できるようにする。	緊急時に備えてマニュアルを把握する。避難経路と初動対応の確認をする。定期的に防災袋の確認	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。